

水生生物調査体験学習会（水生生物による水質の簡易調査）の申し込みについて

1. 目 的

木曽川上流河川事務所管内の一級河川（国土交通省管理区間）において、河川内の水生生物による水質の簡易調査を実施します。

この体験学習は水辺に生息する生物を観察することにより、河川の水質保全や河川愛護などへの理解を深めていただくことを目的としています。

2. 調査方法

河川の中にはさまざまな生物が生息していますが、特に川底に生息する生物は水質の影響を受けています。水生生物による水質の簡易調査は、水質のきれいさの程度に対応して棲んでいる水生生物を指標として、どのような生物が生息しているかを調べることで、その地点の水質の状態を把握しようとするものです。水生生物調査は、通常の採水分析による水質調査のように水質分析の知識・手間が必要なく、適切な指導者のもとで誰でも調査に参加できるという利点を持っています。

(1) 調査する場所と時期

川にすむ水生生物が大きくなる春から夏に実施します。調査場所は、水深が30cmより浅く、流れのある川の瀬で川底に石が多いところで安全な場所を選んで実施します。

(2) 調査の仕方

- ①石や礫がある場所では石や礫を取り上げて岸に運び、そこに付いている生物を採取する。
- ②網を下流に置き、川底をかく乱して採取する。
- ③採取した生物を標本写真と見比べて生物名を確認する。

(3) 水質評価の仕方

水のきれいさの程度を「きれいな水」、「少しきたない水」、「きたない水」、「大変きたない水」の4階級に分け、それぞれの階級にすんでいる生物が示しており、見つかった生物が一番多い階級をその地点の水質階級とする。

	きれいな水	少しきたない水	きたない水	大変きたない水
指標生物名	カラゲラ アミカ ブユ サワガニ ナガレトビケラ ヤマトビケラ ヘビトンボ ヒラタカゲロウ ウズムシ	ヒラタドロムシ イシマキガイ カワニナ ゲンジボタル オオシマトビケラ コガタシマトビケラ コオニヤンマ ヤマトシジミ スジエビ	ヒル タニシ ミズムシ ミズカマキリ イソコツブムシ ニホンドロソコエビ タイコウチ	セスジユスリカ チョウバエ エラミミズ サカマキガイ アメリカザリガニ

3. 調査期間・日程

7月23日(月)～8月17日(金)の間で、1ヶ所につき1日、計16日間

(詳細の日程は、別紙-3予定表参照)

なお、予備日として8月20日(月)～8月24日(金)を予定。

4. 調査地点(16ヶ所)

木 曽 川：中濃大橋・犬山頭首工・平成川島橋・東海北陸自動車道南派川橋・馬飼大橋

長 良 川：藍川橋・長良橋・忠節橋・河渡橋・穂積大橋

伊自良川：古川橋

揖 斐 川：岡島橋・平野庄橋・鷺田橋・揖斐大橋

牧 田 川：広瀬橋

(詳細は、別図1参照)

5. 実施にあたっての注意事項

(1) 渇水等で流量が異常に少ない場合や、雨天等により増水し危険な場合は、調査地点・日程を変更、中止することがあります。

(2) 調査は国土交通省の職員が同行しますが、各校において、顧問の先生の立ち会いをお願いします。なお、道具に限りがありますので、調査は4～5名を1班として、最大20名程度とさせていただきます。

(3) 調査に必要な道具は国土交通省で用意します。

川の中は滑りやすいので、濡れてもよい服装、濡れてもよい靴、着替え、日中大変暑くなりますので帽子・タオル等の用意をお願いします。

6. 申し込み方法

住所、氏名、連絡先とともに、上記日程の内、ご希望の日(場所)・午前か午後かを申込様式(別紙-4)にご記入の上、長良川環境レンジャー協会まで郵送、FAX等でご連絡ください。1地点のみの参加でも複数地点の所の参加でも可能です。

過去に本調査で事故が発生した例はありませんが、参加者全員を対象に当方で一括して保険に加入しますので、参加者の氏名・住所等に不備の無いようにお願いします。なお、参加者に変更があった場合は、速やかにご連絡下さい。

【申込み・連絡先】

〒502-0071 岐阜市長良堤無番地 長良川環境監視センター内

特定非営利活動法人 長良川環境レンジャー協会 担当：名和あけみ

TEL/FAX 058-294-3971

E-mail : nagaragawa@par.odn.ne.jp